



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

尾張旭ロータリークラブ

Weekly

・会長 西尾 輝久
・幹事 森 和実
・会報 福岡 健
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail : owariasahi@nte.biglobe.ne.jp
URL : http://www.owariasahi-rc.jp/

本日 第2015回 2012年6月15日(金) No. 1904

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

クラブフォーラム

卓話者:例会運営委員会 加藤 清久君

演 題:「一年を振り返って」

前 回 第2014回 2012年6月 8日(金) 記 録

○齊 唱:「日も風も星も」
○来訪者:瀬戸RC 水野 和郎君
○出席者:会員30名中21名出席 出席率70.00%
前々回補正出席率は5月25日分100%

会長あいさつ 西尾 輝久

第2014回の週報に大変残念なことです。安藤公爾君、勝屋弘忠君、松原 樹君、服部右子君の退会を了解し載せましたが、更にもう1人、松下洋一君より退会届が提出されました、急遽会長として話を伺いに行っていました。誠意は固く慰留する事が出来ませんでした。誠に申し訳なく思っております。どうぞこれからもお元気でお過ごしくさるよう祈るばかりであります。一方嬉しいことといえば私の任期中に仲澤君、森井君という大変若い新進気鋭な方が入会されました、我がクラブにとっては朗報であり誠に喜ばしい事です。これからの活躍を期待しております。今日はこの後の会長挨拶の時間を、1年間幹事として会務の執行に励んでいただいた森幹事に1年を振り返って思いを話してもらおうと思っております。いろいろご苦労様でございました。

幹事報告

- ・6/1 第15回理事役員会 於商工会館 西尾会長以下11名出席。
- ・6/2 地区米山奨学生・学友合同研修会 於イビデン(株)山田次期米山委員出席
- ・6/5 地区ロータリー研究会 於名古屋国際ホテル 大野次々年会長、加藤清久次々年幹事出席。
- ・6/7 東尾張分区現・次期会長、幹事会 於ウエス

ティンナゴヤキャッスル 西尾会長、井田会長エレクト、桜井副幹事、森幹事出席。

- ・本日の会合:次期理事役員会
- ・次回の会合:なし
- ・例会変更のお知らせ:別紙

ニコボックス

- 今日はよろしく願いたします。(瀬戸RC) 水野 和郎君
- 結婚記念日を祝っていただき。 勝屋 弘忠君
- 卓話で皆様のお耳をけがします。 飯田 幸雄君
- 飯田幸雄君の卓話を楽しみにしています。 西尾 輝久君、唐井 仁一君、桜井 雅博君、古橋エツ子君、古橋 裕志君
- 残りわずかになりました。任期終了まで精一杯頑張ります。 森 和実君
- 西尾会長、食事会では大変お世話になりました。ありがとうございます。 桜井 雅博君
- 加藤清久さん、先日はお世話になり、ありがとうございました。 大野 良之君
- 急に暑くなりました。なるべく汗をかくようにしましょう。 勝屋 弘忠君
- 梅雨の季節です。本日もしくは明日いよいよです。体調を整え、元気で頑張りましょう。 加藤 清久君
- 例会に間に合いました。 富田 晃君

次期理事役員会報告

日 時 2012年6月8日(金) 13:40~
場 所 尾張旭市商工会館 第一会議室

ロータリー親睦活動月間

	6月 23日(土)	6月 29日(金)	7月 6日(金)	7月13日(金)
例会予定	22日(金)振替 夜間例会 於 南風尾張旭店	第6条第一節により 休 会 ビジター受付なし	卓話者:井田 武憲君 演 題:「会長所信表明」 卓話者:プログラム委員会 演 題:「今年度の方針」	卓話者:プログラム委員会 演 題:「今年度の方針」

議 題

1) 次年度計画について。(井田次期会長)

・唐井S・A・A

お城、夜間例会等、スナップ写真を入れながら例会を楽しく。

第1例会は指定席で、スクリーンを右に移動、会場の有効利用をはかりたい。

・会計

適正処理にて予算重視の考えを貫く。

・親睦活動委員会

参加しやすい親睦、参加を条件とする計画づくりする。

・情報委員会

行事等、「協力」をキーワードに。

・社会奉仕委員会

例年の奉仕活動を重視、市民祭、苗木の本数を少し絞る等考えたい。

・プログラム委員会

幹事と協力して計画、特に卓話は先輩中心に、豊富な人生経験を語っていただき。

2) プログラムについて。(桜井副幹事)

若干、会員の変更があり訂正して原案どおり承認されました。

3) 予算書について。(桜井副幹事)

若干、会員の変更がありましたが、資料にもとづいて検討の結果、了承されました。

4) 7月の夜間例会の件

会員のみにて実施することになりました。(人員の関係で、家族共々という意見もでしたが)

5) 出席規程免除の件

資料にもとづき原案どおり承認されました。

6) 東北震災の件

学生の参加は参加確認をとること、ワーキンググループを中心に計画実現をはかるよう要請がありました。

7) その他

・会員増強の件

近隣地区へ新入会員をアプローチをすること、了承されました。



達が数多くの有意義な語録を残されておりますが、なかでも特に私が好んで引用させていただいているのは、井坂孝パストガバナーの二つの語録とハーバート・テラーの「四つのテスト」です。これらは、私の座右の銘として活用しております。(下記に箇条書きで表示) かつて1988～1992年の4年間、私が1開業医でありながら約200人の会員で構成されている財団法人瀬戸旭医師会の会長として会務の運営に当たることになり、これら座右の銘を駆使することにより、大過なく責務を終え、それなりの成果を得ることが出来たと自負しております

①井坂孝パストガバナー：「奉仕の生活というのは決してロータリーの専売ではない、古今東西至る所に、無私の立派な奉仕生活をやっている人は沢山ある。その中で人のために尽くす道は、色々あろうけれど、常住不断やれるのは、自分の職業を通じての奉仕で、その実践がロータリーであって、ここにロータリーの独創とはいえなくとも、他のものと異なる特色がある。」

②井坂孝パストガバナー：「ロータリアンはロータリーからそれぞれの業界へ派遣されているアンバサダー(大使)の役割をしなければならない」

③ハーバート・テラー：「四つのテスト」本文省略。日本語訳の「みんな」は原文では“all concerned”で「当事者一同」または「関係者一同」と解釈したほうが理解し易い。

また、ハーバート・テラーは「四つのテスト」を”a measuring stick, not a code”と言っており、物事を評価する物指であるとしている。

その他、米国で1905年にロータリークラブ創立されて早くも15年後には日本に輸入され、東京RCが設立されている。ロータリーの受け入れとその背景となっている日本の国情などについても言及したが、詳細は紙面の都合で割愛させていただきたい。

卓 話

「ロータリーあれこれ」

飯田 幸雄

私が尾張旭RCに入会させていただいたのが1970年ですから、今年で42年が経過しようとしております。1905年以来発展し続けて来たロータリーの歴史の中で約40%を過ごしたことになると思います。限られた時間で思いつくままに卓話をさせていただきますので、とりとめのない話になりますことを、先ずもってお許しいただきたいと思っております。

私が入会した頃は、夫々のクラブの自主性を重んずる風潮が強く、RI会長のテーマも独創性があり、ガバナー訪問で、RI会長の意図されているところの解説を聴くのが楽しみでした。

最近では、RIの中央集権的な傾向が強く、ガバナーエレクトがアナハイム、最近ではサンジェゴへ一週間から10日間ぐらい缶詰勉強をしてこられて、帰られてガバナーに就任されますが、開口一番言われることは、「会員増強」と「ロータリー財団への寄付」であり、何ら改善されるところがなく、失望しているのが現状です。

ロータリー発展の歴史の中で、先輩ロータリアン

地区より修了証書

地区より会長エレクト研修会のべ3日出席されましたので修了証書をいただきました。

西尾会長(左)と
井田会長(右)

